

2025年12月  
田口佳史

## 2026年

### 丙午（ひのえ うま／へいご）

干支は、流れです。ここ3,4年の流れで見てみましょう。

#### ► 2024年 甲辰（きのえ たつ／こうしん）

前年の癸卯（みずのと う／きぼう）は、トップが大義を失うことなく道義を貫けることが出来れば、その成果が今年に反映されるが、安易な形で全てを置き去りにするような解決を重ねてしまうと、その結果が重荷となって今年は問題山積となり、混乱を招く。そうした中でも新しい芽を見出して養護して育てることが重要。

#### ► 2025年 乙巳（きのと み／いつし）

前年の歩みがいよいよ地表に出る。地表は、風雨は激しく寒暖などが厳しく襲ってくる。真っ直ぐ伸びられずクニャクニヤに折れ曲ってしまう。しかしこの厳しさが大切で、地下では根が強化されていく。様々な抵抗にめげず堂々と正論を貫けば宜しい。

#### ► 2026年 丙午（ひのえ うま／へいご）

①「丙」は、甲から乙に、更に進み拡大する陽気を表わしている。  
②「午」は、「一」が地表、「十」は一の陽を一の陰が対抗して上昇している象形。  
③両方合わせて、発展の隆盛（陽）はまだ続くが、今年が分岐で衰退が始まるに対する準備を手厚くしておかないと、来年以降支持は急降下してしまう。更に反対勢力の台頭が激しくなってくることも準備して対応策を多様に準備しておかなければならない。国際的には中国、中国関係を重視する米国を始めとする各国（韓国、ロシア、北朝鮮）に対する外交戦略、国内的には反保守と自称する勢力とそうした勢力を取り込もうとする政党に対する政治活動。八方に対する“したたか”な戦略と担当部門、その責任を明確にする必要がある。来年の「丁未（ひのと ひつじ／ていび）」は、外を立てると内が疎かに、内を立てると外が疎かになってしまう難渋の時を予測している。

再来年の「戊申（つちのえ さる／ぼしん）」は国内の混乱を表わしていることを思えば、今年の整備を戦略思考的に固めておく必要がある。

2027年 丁未（ひのと ひつじ／ていび）

2028年 戊申（つちのえ さる／ぼしん）